



2024年12月11日

各 位

会 社 名 株式会社ノーリツ  
代 表 者 名 代表取締役社長 腹巻 知  
(コード 5943 東証プライム市場)  
問 合 せ 先 取締役 廣岡 一志  
兼 常務執行役員  
(電話番号 078-391-3361)

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、本日開催の取締役会において、2023年12月に実施しました取締役会の実効性評価において設定した課題に対する2024年度の取り組み結果、および2024年12月に実施しました取締役会の実効性評価の結果を確認し、また、その結果に基づき2025年度に取り組むべき課題を設定しましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 取締役会の実効性評価(2023年12月実施)における課題に対する2024年度取り組み結果  
当社取締役会は、前回の実効性評価に基づいて、取り組むべき課題を定め、実効性向上に取り組みました。

- (1) 取締役会においてより時間をかけて議論すべき経営課題について、計画的な議題設定を行うことで議論する機会を増やす。  
→デジタル・トランスフォーメーション関連や人材戦略等の課題を中心に、将来に向けた中長期的なテーマの議題を取締役会の年間スケジュールに反映させ、議論の機会を増やしました。
- (2) 取締役会において承認・決議された重要な意思決定に対して、適切な振り返りおよび進捗確認等によるモニタリングを行う。  
→IR・SR活動やリスクマネジメントを中心に、各担当部門からの報告をもとにモニタリングを実施し、その進捗状況や環境変化を踏まえた今後の課題等について議論しました。
- (3) 統合的リスクマネジメントシステム(ERM)について議論し、ノーリツグループ全体での一体的なリスクマネジメントを実施する。  
→新たな事業の成功のためにリスクテイクも検討する「戦略リスク」のマネジメントという観点を追加した上で、当社の各本部および各グループ会社によるリスク特定とリスク対応計画策定を実施し、そのうちの全社重要リスクについての議論を進めました。

2. 2024年度評価方法

- (1) 取締役会の実効性評価を中立的・客観的に検証するため、第三者機関関与のもと、在任するすべての取締役9名に対し、アンケートを実施し回答を得ました。  
アンケートの主な項目は次のとおりです。

- ・ 取締役会の構成
  - ・ 取締役会の運営
  - ・ 取締役会の議論
  - ・ 取締役会のモニタリング機能
  - ・ 社外取締役のパフォーマンス
  - ・ 取締役に対する支援体制
  - ・ トレーニング
  - ・ 株主（投資家）との対話
  - ・ 自身の取組み
  - ・ 総括
- (2) 社外取締役の問題意識をアンケートに反映させるため、設問作成のプロセスに社外取締役が関与しました。
- (3) 第三者機関が分析した評価結果をもとに取締役会で意見交換を行い、取り組むべき課題を議論しました。

### 3. 取締役会の実効性に関する評価結果および2025年度取り組み課題

上記による評価の結果、当社取締役会は適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることを確認しました。

一方、取締役会の実効性をさらに高めていくために取り組むべき課題を、次のように設定いたしました。

- (1) ESGに関する経営課題について、さらに集中して議論する機会を増やす。
- (2) 取締役会で決議された意思決定内容に対するモニタリングを、継続して実施する。

### 4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の実効性評価に基づく課題に対し、取締役会のさらなる実効性向上のために必要な取り組みを実施し、改善に努めます。なお、当社は、取締役会の実効性評価を今後も定期的実施し、より良いコーポレートガバナンスの実現を目指します。

以上